



第22回 ボウリング大会を開催しました

2月28日(土) 19時スタート 多世代の20人で交流ボウリング大会を開催しました。毎回参加人数は減少しております。少ない人数ではありますが各レーンとも白熱したゲームが行われました。楽しい時間を共有できました。

今回も小学生の部・一般の部に分かれ、2ゲームを楽しみました。各レーンとも2人対抗でしたので早くに終了することができました。

上位入賞者のみ発表します。

一般の部

優勝	高木 史郎さん	295点
準優勝	維田 浩之さん	292点
三位	西村 芳一さん	278点

小学生の部

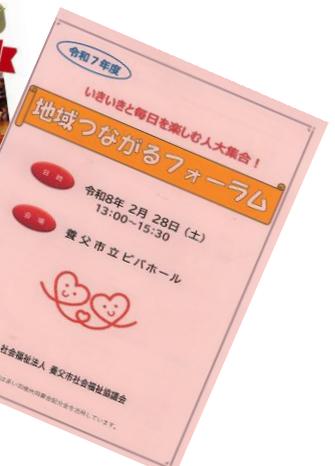
優勝	池田 悠太さん	210点
準優勝	浦 朝晃さん	206点

おめでとうございます。



喫茶ひまわり 実践発表

2月28日(土) 養父市社会福祉協議会主催の令和7年度地域つながるフォーラムで実践発表の機会をいただきました。会場は養父市立ビバホールで行われ代表者の西村令子さん副代表の田中美晴さんによる実践発表とパネルディスカッションが行われました。“喫茶ひまわり”の活動の様子が会場の皆さんに伝わったと思います。



身近で見られる植物 ⑤7

シラカシ〈ブナ科〉(白樫)



緑の葉をつける植物が少ないこの時期、一年中緑の葉をつけている常緑樹のひとつであるシラカシを紹介します。

宿南の山野に普通に生えている高木です。どんぐりの生る木の一つで、去年はたくさんの実が生まれました。どんぐりの傘(ベレー帽)は横縞になっているのが特徴です。漢字で木偏に堅と書くよ



うに堅い木で、材が白なので白樫。椎茸の原木にも利用できます。

喫茶 ひまわり から

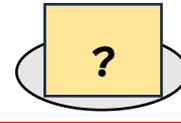
いつもご愛顧 有り難うございます。

4月 お楽しみデーを

4月13日(月) 16日(木)に
予定しています。



なにが出るのかお楽しみに



シイタケ栽培豆知識

栽培に使用する原木により、香り食感などが変わるそうです。今、カシとコナラからシイタケが出ています。食味比べをしようと思いますが興味のある方は自治協まで連絡下さい。状況によっては中止もあります。

お知らせ

3月19日(木) 宿南小学校卒業式
3月24日(火) 宿南小学校修了式
4月8日(水) 宿南小学校始業式

3月21日(土) 青谿書院記念館書道会
3月25日(水) 春休みこども書院塾
4月9日(木) 宿南小学校入学式



草庵先生紹介

85



領地を巡回する途中、青谿書院に立ち寄って草庵と面会した生野代官横田新之丞(右端奥)

宮崎和夫さん作

文久3(1863)年の生野の変の翌年4月、それまで生野代官を務めていた川上猪太郎は奥州伊達郡桑折代官に場所替えとなり、生野代官所には新たに横田新之丞が代官としてやって来た。(旧生野町〈現朝来市〉教委発行の太田虎一著「生野義挙日記」から)

「早起き。講義は『韓文』をする。検読2人。予州(愛媛県)の1人と播州の2人退塾する。昼小酌して横になる。大きな出来事があった。生野代官横田氏が突然来られる。断ることができず。それでしばらく話をする。その子息を連れ、従者も数人連れてのことだった(後略)」(慶応元〈1865〉年9月10日)

青谿書院のある宿南村は、幕府が直轄する天領であった。横田代官は従者を連れて領地を巡回していた途中であった。横田はあちこちから草庵のことについて聞いていたのだろう。前触れもなく青谿書院を訪れ、草庵と面会した。幕府の役人が青谿書院にやって来るなどということは、前例もなく草庵はあわてた。「突然来られる、断ることができず」と、日記に書いている。しかし、その面会は草庵にとっては心にひびくものがあったと思われる。その面会のことを漢詩にして残していて、その中には「物々しい装備の一団が入ってきたが、帰られた後は清らかな風がちりを払ってくれた感じだった」という意味のことが書かれている。横田代官は伝え聞いていた草庵の人柄や見識に改めて敬服したであろうし、草庵にとっても代官との出会いは「清らかな風」と表現するようなものであったのだ。この後、横田代官の息子たちが青谿書院に出入りするようになった。

「夜、生野代官横田氏の継嗣新太郎君来る。しばらく話をして退去」(同年11月11日)

この後も、長男新太郎はしばしば青谿書院にやって来て、草庵と話したり、講義を聞いたりした。「早朝、生野代官子息横田新太郎君入塾する」(同年12月12日)

「夜、横田氏の次男兼三郎君入塾する」(慶応2〈1866〉年1月18日)

横田代官の子息2人は相次いで青谿書院に入塾して学ぶことになった。

池田草庵先生に学ぶ会